

千葉福祉園だより

第66号

長浦おかのうえ図書館作品展

今年の作品展は、他団体との場所取り合戦に敗れ、8月23日から30日までの8日間と、短い開催期間となりました。

毎年恒例の生産品の他、ボール紙で作った簡易編み機による「スヌード(毛糸で編んだ襟巻)」、牛乳パックや木版カレンダーの端紙の和紙を使った「おもちゃ箱」、お弁当のプラスチック容器をトースターの熱で溶かして作ったマグネットなど、新しくチャレンジした活動をみていただくことができました。

また、美術クラブからは、陶器の小片に絵を描いて作った「ゆらりん(風鈴)」、寮での余暇時間に取り組んだ「刺し子」、寮のみんなで楽しんで作った壁面工作も多数、出品されました。

全28点の作品が集まり、その中から、最優秀賞1作品、優秀賞2作品、奨励賞2作品が選ばれました。管理職・係長17名が選考委員となり、賞を決定いたしました。

現在、総合訓練センターのフロアー・廊下に展示していますが、選者からのコメントもついておりますので、お立ち寄りの際には是非、ご覧になって下さい。

今までは、後期中活動参観日に、授賞式を行っていましたが、今年は、園まつりのカラオケ大会授賞式の後に設定しました。

賑やかな祭りの雰囲気の中、より多くの皆さんの前で榮譽を称えられ、より誇らしく、喜ばしかったのではないかと思います。

次年度は、また、みなさんの力作が楽しみです。



最優秀賞 「鬼人」
作 菅野文弘さん



優秀賞 「スヌード」
作 手工芸科



優秀賞 「壺 お母さん」
作 河原塚 雅子さん

活動支援係 橋本 和恵

園まつり

平成28年10月2日、若人の奏でる軽快なマーチの音色で、「園まつり」の幕が開けました。天候に恵まれた今回の祭りでは、様々な内容の模擬店やフリーマーケットで会場が活気づき、盛況となりました。また、市原天翔太鼓による演奏では「太鼓を打つ体験」に会場が盛り上がり、観客席では曲に合わせて踊る姿も見られました。総合訓練センターで行われたカラオケ大会では、参加寮が思い思いに趣向を凝らし、練習の成果を競い合うと同時に、皆で「歌い・踊り・笑った」楽しい大会となりました。「園まつり」開催にあたり、利用者の皆様と共に準備を重ね、無事に迎える事が出来ました。開催後に、ぼんぼりが風にそよぐ様子を見ると残暑の中で設営を共にした事を思い出させます。「園まつり」は平成19年秋から始まり現在に至ります。多くの方々に参加して頂くためには、環境への工夫や思考を重ねる事が必要であると感ずる開催となりました。今後も公益的な取り組みとして、文化的な活動となる様に皆様のご指導やご鞭撻を賜りながら、皆で園まつりの運営に努めて参りたいと思っております。最後まで盛り上げたが、終始祭りを爽やかな音色で盛り上げて下さいました袖ヶ浦高校ブラスバンド部の皆様方をはじめ、各参加団体や地域の方々のご協力に感謝申し上げます。今後とも宜しくお願致します。

生活支援第2係 あじさい寮

山田 宣子

OJT意見交換会

8月30日にOJT意見交換会を行いました。新人職員が約半年仕事をしながら、感じていることや、取り組んでいきたいこと等を率直に意見交換しました。良かったこととしては、「利用者との活動の中で、信頼関係ができてきた。」「外部とのやり取りも任せられるようになり、やりがいを感じている。」「先輩職員に教えてもらい充実している。」「等の声がありました。また、困っていることとして、パソコン業務や書類作成等に苦慮し、困難さを感じているようでした。

さまざまな意見の中で、改善に向けては、その課題を表面化すると共に、積極的に取り組む姿勢の大切さを確認することができました。

援護係 川崎 武雄

新規職員感想

OJT意見交換会に参加しました。自分たちの意見が自由に発言できる場があり、よい機会でした。いろいろな意見が聞け、勉強になりました。また、新人同士の交流の場として集まったことが良かったと思います。

生活支援第5係 もえぎ寮 草野 尚子

クラブ活動



利用者の皆さんが仲間と一緒に趣味やスポーツを行い、楽しさや喜びを得ることを通して、心身のフレッシュを図り、充実させることを目的として、日中活動の一環でクラブ活動を実施しています。

利用者の皆さんが誰でも参加出来るクラブに、音楽・ビデオ・スポレク・民謡があり、事前に参加登録をするクラブに、サッカー・バドミントン・ゲートボール・生花・美術があります。

今後は職員一丸となり、充実した活動を提供していきます。

生活支援第4係 水明寮 佐久間 誠一

利用者の声

カラオケがカチ
うタタノシタ
オシモノタベテ
タノシカタ
イロキイロウテイ
ルミセミキマシ
ヒルハゲトタベテ
スグシマシタ
ふじみ寮 利用者



ナイスフォーマンズは
あじさい寮です。



昭和の音楽
曲目は「影を慕いて」



袖ヶ浦高校ブラスバンド部
の迫力の演奏



カラオケ大会曲目「ペパー
警部」最高の笑顔で踊って
ます。



よさこいをみんなで踊る
様子。白石理事長にも
参加していただきました。

のぞみ寮 利用者
ぼくはもぎてんが
たのしかった
おかあさんとおね
えさんがめんか
にきまてう
れしかった



意見交換会の様子

発行 東京都千葉福祉園
千葉県袖ヶ浦市代宿8番地
TEL: 0438-62-2711



東京都社会福祉事業団

つばさ高校ワークキャンプ

毎年恒例の、つばさ高校ワークキャンプ。2泊3日一緒に過ごす事を、利用者さんとはとても楽しみにしています。各寮で生活を共にし、散歩や食事、余暇時間での関わりを通してとても仲良くなりました。最終日には、手話コーラスを披露してもらい、一緒に踊ったり拍手をしたりと交わる中で、感極まり頬を伝う学生さんの涙を、ハンカチで拭く利用者さんの姿がとても微笑ましく、皆さんの気持ちが一つになりました。

活動支援係 山口 美幸

夏フェス



去る7月16日夏イベントとなる「夏祭り」を実施致しました。夏イベントを実施するにあたり、イベントリーダーを務めました。今回イベントを企画するうえで一番大事にしたかったことが、「利用者さんと一緒に楽しめること。」「夏を感じられ、利用者さんも参加出来るもの。」「ということでした。先輩職員の話では以前はグラウンドにやぐらを立てて、花火も上がって、利用者の皆さんは甚平や浴衣等を着て参加していたと聞いています。高齢化等で行えなくなった経緯を聞き、形や規模は変わってもそういったものが出来たらいいなという思いで企画を始めました。昨年好評だったニコニコバンドさんの協力をいただき、前後半に分けて実施することになりました。後半の部分はお祭りの雰囲気を作ろうという話になり、勢いで福祉園の音頭を作ろうと発案しました。しかしそれが苦勞の始まり



コーラスに聞き入っている様子



大盛り上がりのニコニコバンド



防災訓練

地震や火事などの災害から利用者を守るため園では毎年防災訓練を実施しています。以下、園全体の防災訓練の概要をご紹介します。

まず、各寮では原則毎月1回防災訓練を実施しています。また、日中活動やクラブ活動中で利用者が寮以外の場所にいる時の避難訓練も行っています。さらに、園全体では6月には夜間の火災を想定した訓練、9月には地震と火災を想定した防災訓練を行っています。9月の訓練では、地震発生に伴うライフラインの遮断を想定して給水・炊き出し訓練・消火器使用訓練も併せて実施しています。この訓練では、園内にある屋外消火栓を使った放水と消火器による初期消火、避難誘導などを行い、非常時になすべき行動を職員全員が確認し、利用者の安全・安心の確保に努めています。

次に、園の自衛消防隊についてご紹介します。職員住宅居住者と園近隣居住職員で、自衛消防隊を組織しています。現在、総勢20数名の精鋭部隊です。各班長の号令以下、機敏な動きで避難誘導と消火活動の役割を担っています。

訓練は実際の災害時に役立つものでなければ意味がありません。特に、職員配置が極めて薄い夜間の火災に的確に対応するには、マニュアルが整備され、反復訓練により迅速かつ的確に行動できることが重要です。いっ

生活支援第4係 上村 和代



消火器による消火活動訓練の様子



放水訓練の様子 皆さん真剣です。

りでした(笑)。いざ作るとなると誰が作るのか、誰が唄うのか、誰が演奏するのか等々問題は山積みでした。外部の人に依頼するという意見も挙がりましたが、せつかくなら全部職員で作ろうという案にまともな意見がなかった。福祉園のみんなの言葉を入れた歌にしたいとフレーズを募集しました。しかし、曲だけが出来上がってもお披露目できるわけもなく、困っていたところ、さすが芸達者な方はおられるもので、編曲、ミキサー、歌などそれぞれを趣味にされている方が現われ、「福祉園音頭」はとても親しみのある、素敵な曲に仕上がりました。その後、実行委員で振付を考え、皆さんへお披露目することが出来ました。本番当日は何人参加してくださるか、会場は入れるのか、混乱なく行えるか、不安ばかりが高まりましたが、いざ始めると皆さんの楽しそうな笑顔や曲につられて踊り出す姿を見ていると、実施出来て良かったと心から思いました。今は行えなくなってしまうグラウンドでの夏祭りですが、その当時は少しでも感じ、思い出せるものであったなら嬉しく思います。また、準備の段階から実施に至るまで、曲のフレーズから作詞、歌の吹き込みや寮での製作等、様々なご協力をして下さった皆様へ深く感謝申し上げます。とても楽しい企画が出来たことを嬉しく思います。ありがとうございます。

生活支援第4係 かえで寮 松島 伸一



きんぎょやほびで夏祭りを楽しみました。



笹の葉の前でハイキース！



手作り団扇で涼みまじょう。

まつば寮納涼祭

8月12日(金)、利用者の皆さんも職員も楽しみにしていたまつば寮恒例行事、納涼祭が開催されました。

当日は納涼祭専用の横断幕やのぼりを掲げたり、提灯を飾り付けることで普段とは違う雰囲気を楽しむことが出来た様子でした。今年の特別メニューはスタミナ満点のタイ料理、ガパオライスと皆さんが大好きな唐揚げ&プリンを提供し、お腹いっぱい食べて頂きました。また、カラオケ大会ではそれぞれ思い思いの曲を歌い、大いに盛り上がりました。最後は花火の観賞をし、皆さん夏の思い出を作ることが出来たようです。

生活支援第5係 まつば寮 若菜 翔



スタミナ満点タイ料理 いただきます！



スタミナを付けた後は？ カラオケで盛り上がり！

児童寮宿泊研修

山頂コース



さあ！出発だ！



動き合って山頂を目指せ！



さあ！出発だ！

つくし寮では8月16日(火)〜8月17日(水)、児童6名、職員3名十元職員1名で富士山に登りました。初日は5合目から歩き始め8合目の山小屋に宿泊、2日目に登頂を目指しました。標高が上がるにつれて高山病の症状が出現する子供もいましたが、皆の励ましもありなんとか全員での剣ヶ峰登頂を果たすことができました。登頂後、お鉢を回ってから無事に下山しました。子供たちにとって大きな自信になるとともに、福祉園での良い思い出になってくれればと思います。

児童生活係 つくし寮 坂田 秀一

福祉園音頭 1番
 サクラ満開 咲き誇り たけのこつくしも ニョッキニョッキ
 ピンクのトンネル くぐりぬけ 笑顔あふれる 福祉園
 Ah〜 心フクフク 福祉園音頭